

宇土市公共事業再評価委員会概要録

日 時	令和6年12月18日（水） 13:30～14:15
場 所	市役所1階会議室1
要 件	第3回 宇土市公共事業再評価委員会
出席者	公共事業再評価委員会委員 6名 滝川 清、北野 安正、中村 茂、吉川 満璃子、岩村 由紀也、吉野 聡 土木課 坂田課長、竹下係長、末吉技師 企画課 三浦課長、石山係長、森山参事
欠席者	なし
概要	<p>1 開会</p> <p>2 議題 審議結果（案）について 事務局より、審議結果（案）について説明。 審議結果（案）について協議、本会議での意見を踏まえ、委員長と事務局で審議結果（案）を修正し、市へ報告することについて、全委員の同意を得た。</p> <p>（主な質疑・意見等） 審議結果（案）の附帯意見について</p> <p>【1. 準用河川船場川改修事業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然排水の条件悪化について、裏付ける資料を整理してほしい。 ・開発前後の比較の図があると分かりやすい。 ・「このため」が2回記載されているので、1回目は削除する。 <p>【2. 準用河川大坪川改修事業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船場川同様、貯水機能の低下等を裏付ける資料を整理してほしい。 ・「実施されているにもかかわらず」は「実施されているにもかかわらず」に修正。 ・再評価委員会は市民側の立場のため、「要望されている」ではなく「要望してきている」に修正。 ・「望まれる」という表現は、より強い表現である「切望される」に変更。 <p>【3. 総合的な治水・減災対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3は船場川と大坪川の両方の事業に跨るものである。 ・「河川改修事業による対策だけでは限界がある。」の後に、「地域住民と一体となり、総合的な取組が必要である。」を加え、以降を交通整理してスマートに記載すること。 ・総合的なことを書きすぎているため、より実効性のあるような提言にしたい。災害発生の事前、最中、事後の発想がない。意識して啓もう活動しなければならない。

